

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第9週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (9 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。
- 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：急性脳炎 1 例、梅毒 5 例、百日咳 21 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	肺結核	咳
		小林	80歳代	男	肺結核及び結核性胸膜炎	発熱、胸水
5類	急性脳炎	宮崎市	0~4歳	男	病原体不明	発熱、嘔吐、下痢
	梅毒	宮崎市	10歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	早期顕症梅毒 I 期	初期硬結
		20歳代	男	無症状病原体保有者	なし	
		都城	10歳代	女	早期顕症梅毒 I 期	初期硬結
日南	20歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹		

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群				症状
				5~9歳	10歳代	30歳代	40歳代	
5類	百日咳	宮崎市	2例		2			持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタカート、ウーブ、嘔吐、喀痰、発熱
		都城	6例	2	4			
		延岡	2例		2			
		日南	2例	1	1			
		高鍋	5例	1	3	1		
		日向	2例	1			1	
中央	2例	1	1					

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 953 人(定点当たり 24.3)で、前週比 92%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 194 人(3.3)で、前週比 88%と減少した。高千穂(6.5)、延岡(6.0)、都城(3.6)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満と 60 歳以上がそれぞれ全体の約 3 割ずつを占めた。

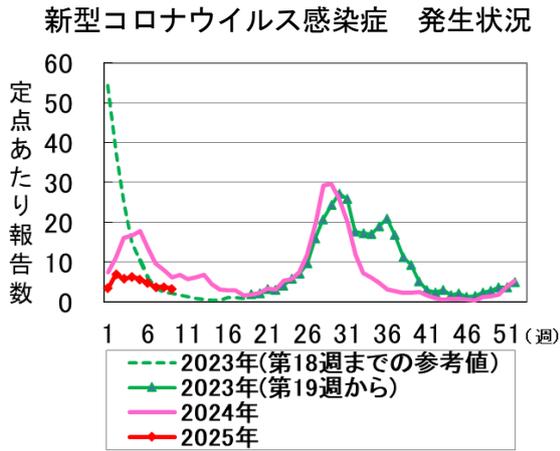
【感染性胃腸炎】

報告数は 500 人(13.9)で、前週比 96%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(10.5)の約 1.3 倍であった。小林(22.7)、中央(20.0)、都城(19.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 4 歳が全体の約 4 割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

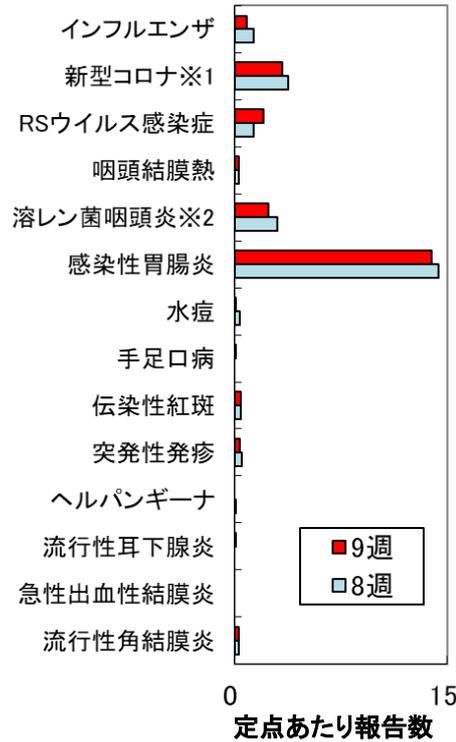
報告数は 86 人(2.4)で、前週比 78%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.4)の 1.0 倍であった。中央(9.0)、日南(5.7)、宮崎市(3.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は 4 歳から 9 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

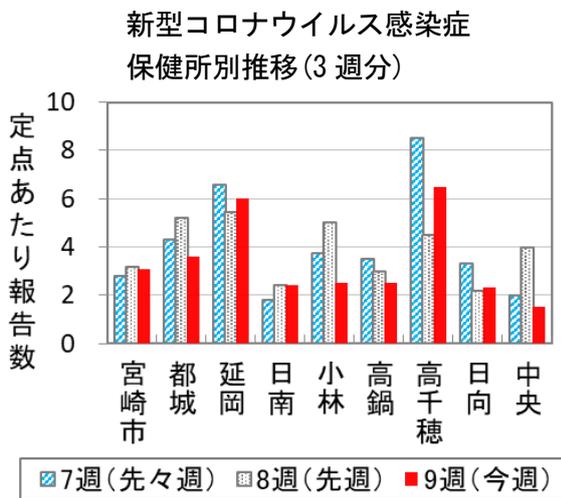


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

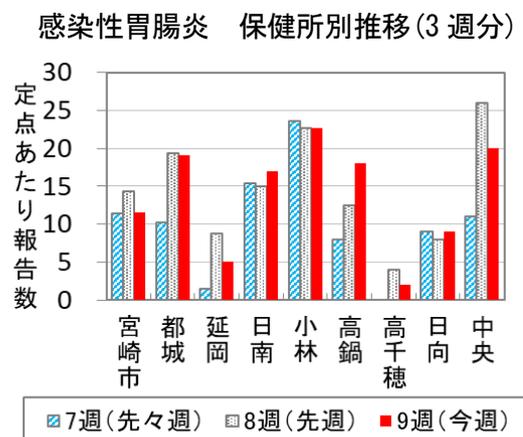
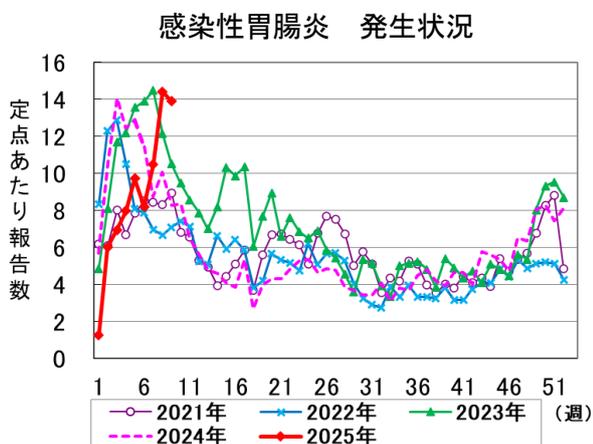
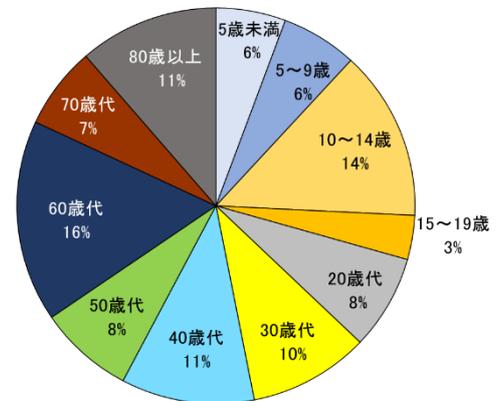
《前週との比較》



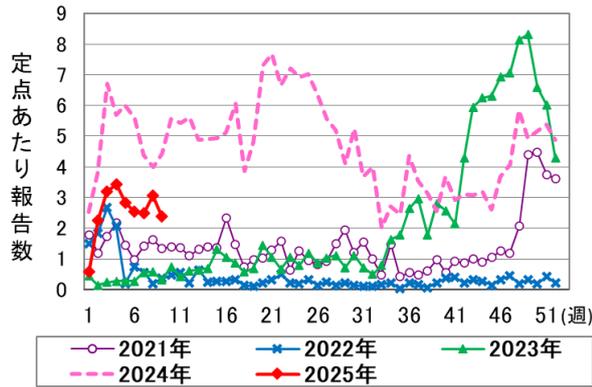
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



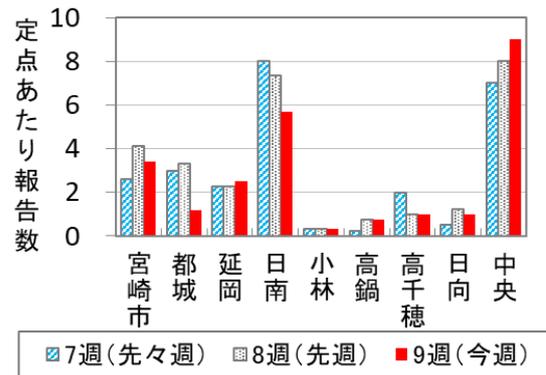
新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ (第9週)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点あたり0.1)で、前週比1.0倍と横ばいであった。日向保健所から報告があった。年齢は5～9歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(22.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)、 感染性胃腸炎(20.0)

流行警報レベル開始基準値
 ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
 ・感染性胃腸炎(20)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和7年3月3日までに検出)

★細菌 報告なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Human coronavirus OC43	0～4歳	女	2025.01.20	急性気管支炎、39.0℃	鼻汁	2025.02.28
Influenza virus A H1pdm09	10歳代	男	2025.01.27	インフルエンザA型、39.9℃、咽頭痛、 気管支炎	鼻汁	2025.02.25
Influenza virus A H1pdm09	50歳代	男	2025.02.01	インフルエンザA型、39.6℃、関節痛、 咽頭痛、咳、痰	鼻咽頭ぬぐい液	2025.02.25
Influenza virus A H1pdm09	5～9歳	女	2025.02.06	インフルエンザA型、40.1℃、上気道炎、咳、 鼻水	咽頭ぬぐい液	2025.02.25

🇯🇵 全国 2025 年第 8 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	223 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	27 例		
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	2 例	つつが虫病	2 例
	デング熱	1 例	レジオネラ症	26 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19 例
	急性脳炎	8 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	26 例	後天性免疫不全症候群	7 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	51 例
	水痘(入院例)	3 例	梅毒	146 例	播種性クリプトコックス症	3 例
	百日咳	358 例	麻しん	3 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	2 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 113%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 24,343 人(5.0)で前週比 96%とほぼ横ばいであった。佐賀県(8.1)、茨城県(7.3)、愛知県(6.9)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満と 60 歳以上がそれぞれ全体の約 3 割ずつを占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 32,220 人(10.3)で前週比 134%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.9)の約 1.8 倍であった。大分県(21.0)、熊本県(19.1)、香川県(17.2)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2025年 第09週(02月24日～03月02日)

疾病名		第08週	第09週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	78	50	19	12	1	1	1	6	4	2	4
	定点当り	1.34	0.86	1.19	1.20	0.14	0.20	0.25	1.00	2.00	0.33	2.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	221	194	49	36	42	12	10	15	13	14	3
	定点当り	3.81	3.34	3.06	3.60	6.00	2.40	2.50	2.50	6.50	2.33	1.50
RSウイルス感染症	報告数	49	74	27	13	9	1		12		11	1
	定点当り	1.36	2.06	2.70	2.17	2.25	0.33	0.00	3.00	0.00	2.75	1.00
咽頭結膜熱	報告数	11	10	5	1	2		1			1	
	定点当り	0.31	0.28	0.50	0.17	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	110	86	34	7	10	17	1	3	1	4	9
	定点当り	3.06	2.39	3.40	1.17	2.50	5.67	0.33	0.75	1.00	1.00	9.00
感染性胃腸炎	報告数	519	500	116	115	20	51	68	72	2	36	20
	定点当り	14.42	13.89	11.60	19.17	5.00	17.00	22.67	18.00	2.00	9.00	20.00
水痘	報告数	14	2	2								
	定点当り	0.39	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数		3	1			1		1			
	定点当り	0.00	0.08	0.10	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	17	17	13	3	1						
	定点当り	0.47	0.47	1.30	0.50	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	18	13	2	3	1	3	3	1			
	定点当り	0.50	0.36	0.20	0.50	0.25	1.00	1.00	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2										
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1									1
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	2	1	1							
	定点当り	0.33	0.33	0.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1									1
	定点当り	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	2										
	定点当り	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

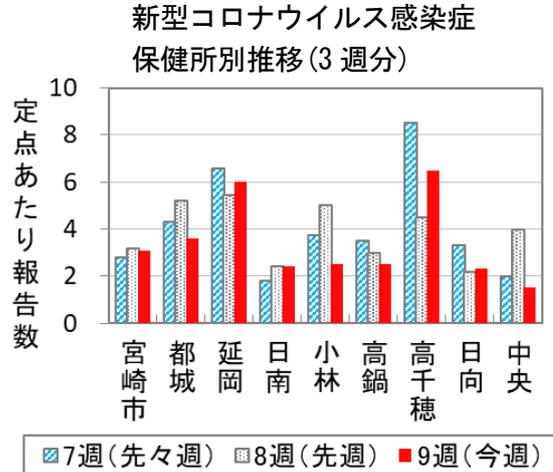
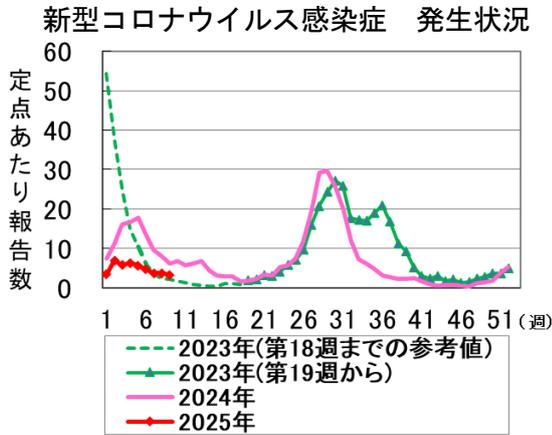
●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～9週 保健所受理分)

2類感染症	結核	21例(2)			
4類感染症	E型肝炎	2例	つつが虫病	4例	
				レジオネラ症	2例
5類感染症	急性脳炎	2例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	
	侵襲性肺炎球菌感染症	7例	梅毒	15例(5)	
	破傷風	1例	百日咳	102例(21)	
				播種性クリプトコックス症	1例

新型コロナウイルス感染症情報《県内第9週、全国第8週(再掲)》

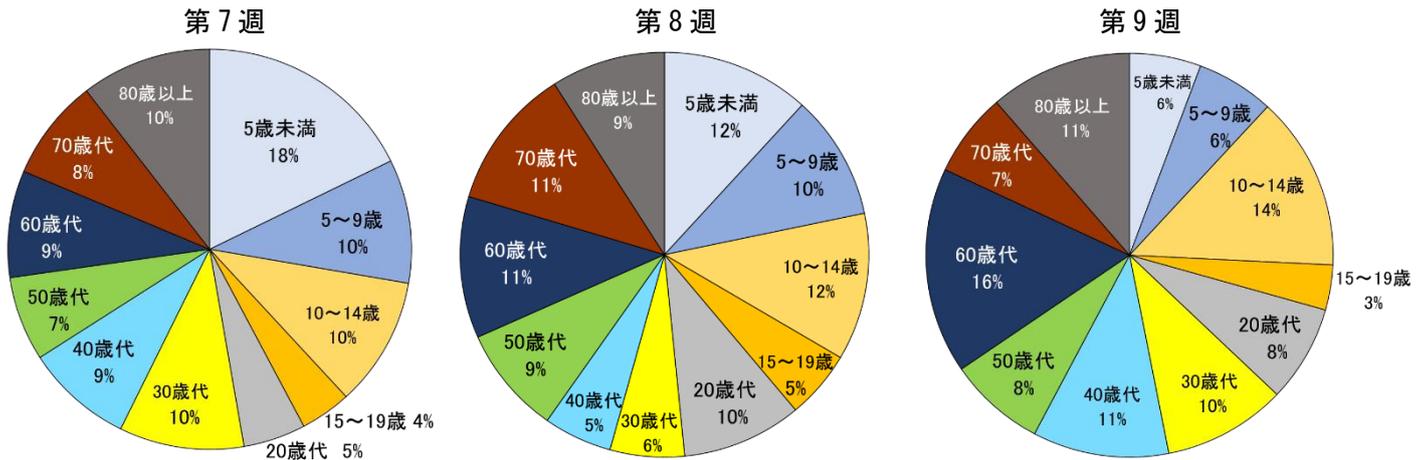
□ 県内第9週 新型コロナウイルス感染症発生動向

2月24日～3月2日までの1週間で194人(3.3)の報告があり、前週比88%と減少した。高千穂(6.5)、延岡(6.0)、都城(3.6)保健所管内からの報告が多かった。

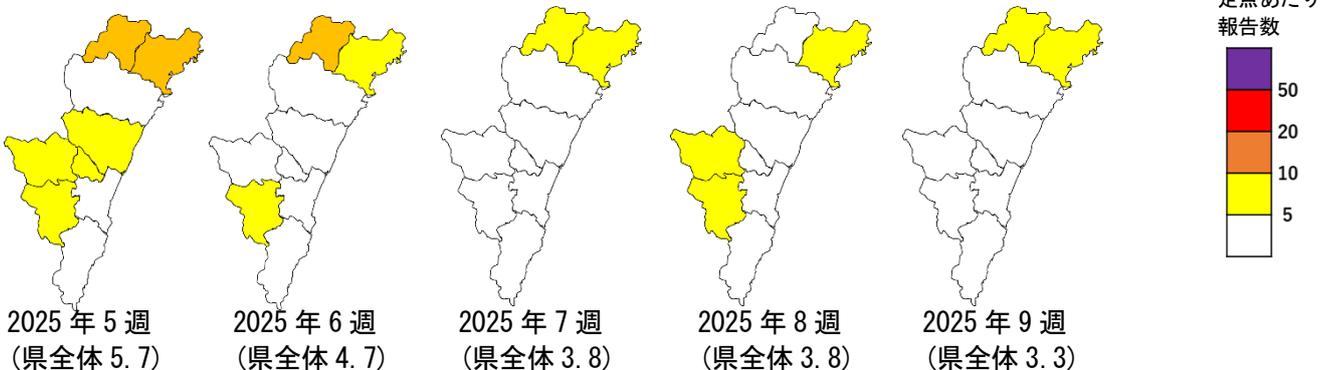


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2025年第5週～2025年第9週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第8週 新型コロナウイルス感染症発生動向

2月17日～2月23日までの1週間で24,343人(5.0)の報告があり、前週比96%とほぼ横ばいであった。佐賀県(8.1)、茨城県(7.3)、愛知県(6.9)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満と60歳以上がそれぞれ全体の約3割ずつを占めた。